



# VRFおよびネットワークのブラウンフィールドインポート

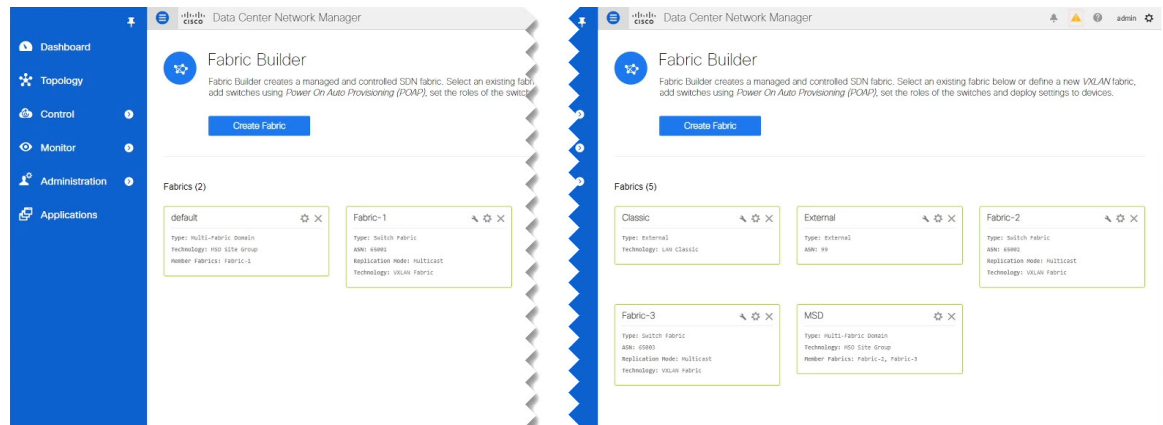
---

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [前提条件 \(2 ページ\)](#)
- [構成のインポートのためのスキーマとテンプレートの作成 \(3 ページ\)](#)
- [NDFC サイトからのスキーマ要素のインポート \(5 ページ\)](#)
- [テンプレートの展開と変更 \(7 ページ\)](#)

## 概要

次の項では、ブラウンフィールドインポート使用例のシナリオについて説明します。これにより、マルチサイトドメイン (MSD) の一部であるファブリックを含む、既存の NDFC ファブリック設定をインポートできます。また、これらの設定を、Nexus Dashboard Orchestrator を使用して、単一の場所から、複数のグリーンフィールドまたはブラウンフィールドファブリックにわたって拡張できます。同じ使用例が、[Cisco NDFC VRF](#) および [Nexus Dashboard Orchestrator](#) を使用したネットワーク設定のビデオデモで示されています。

この章の例では2つの異なる NDFC コントローラを使用します。最初の NDFC の Fabric-1 は単一のファブリックです。Fabric-2 と Fabric-3 は MSD の一部であり、2 番目の NDFC によって管理されます。



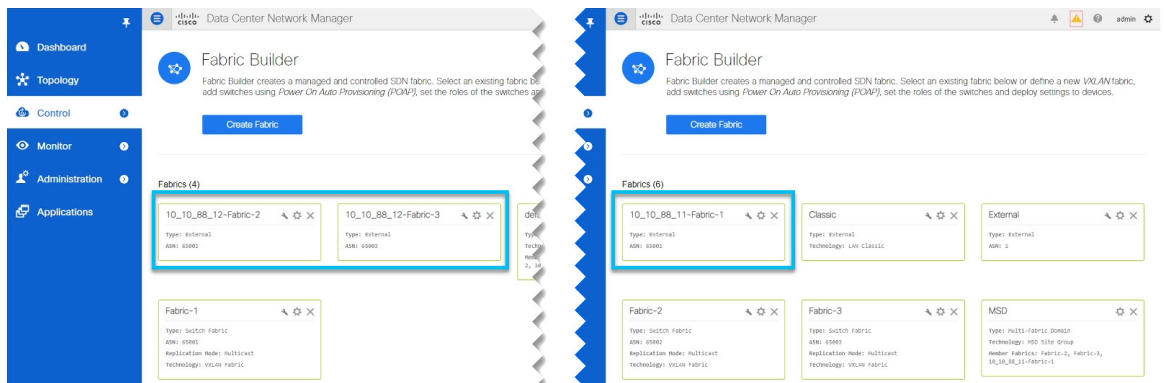
次の項では、既存の設定をインポートし、別のNDFCで管理されるファブリック間で拡張する方法と、新しいVRFおよびネットワークを展開する方法について説明します。

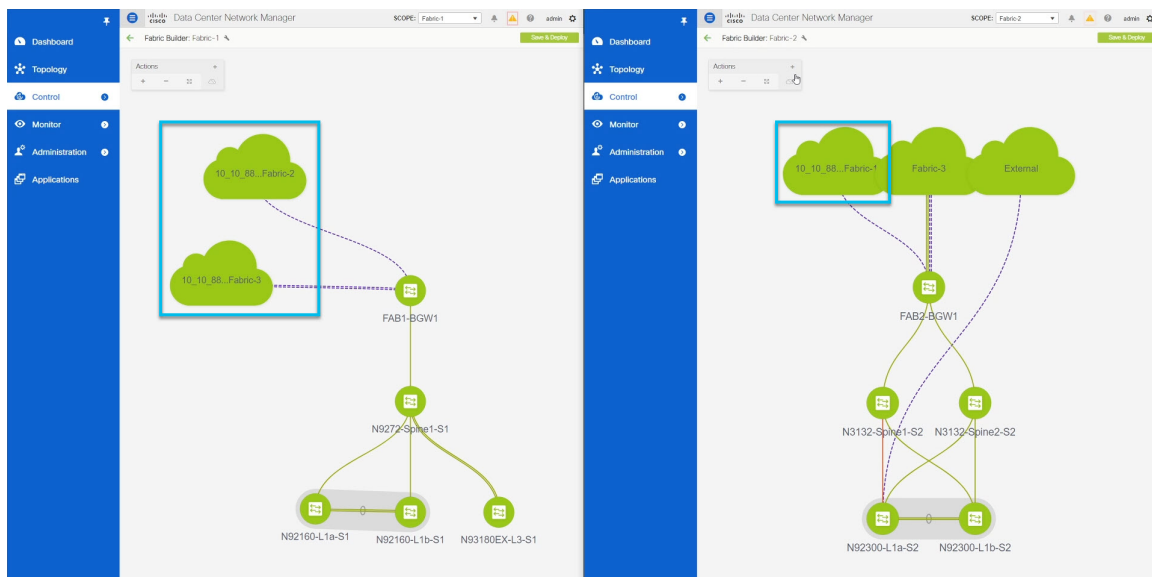
## 前提条件

環境内の既存のNDFCファブリックからVRFとネットワークをインポートして管理する前に、次のものがが必要です。

- [Cisco Nexus Dashboard Deployment Guide](#)および[Cisco Nexus Dashboard Orchestrator Deployment Guide](#)の説明に従って展開され、インストールされたNexus Dashboard クラスタとNexus Dashboard Orchestrator サービス。
- Nexus Dashboard にオンボードされ、Nexus Dashboard Orchestrator GUIで管理できる既存のNDFCファブリック（[サイトの追加と削除](#)を参照）。
- [Cisco NDFC サイトのインフラの構成](#)の説明に従って、サイト間インフラストラクチャを設定して展開します。

上記の「概要」セクションに示されている例のファブリックを展開すると、すべてのファブリックのインフラ設定を構成した後、各DCNMに展開されたサイト間接続が表示されます。





## 構成のインポートのためのスキーマとテンプレートの作成

このセクションでは、スキーマとテンプレートを作成する方法について説明します。その後、既存の設定をそれらにインポートし、新しい設定を作成します。

### 始める前に

- **前提条件 (2 ページ)** で説明されている前提条件を確認し、完了している必要があります。

**ステップ 1** Cisco Nexus Dashboard Orchestrator の GUI にログインします。

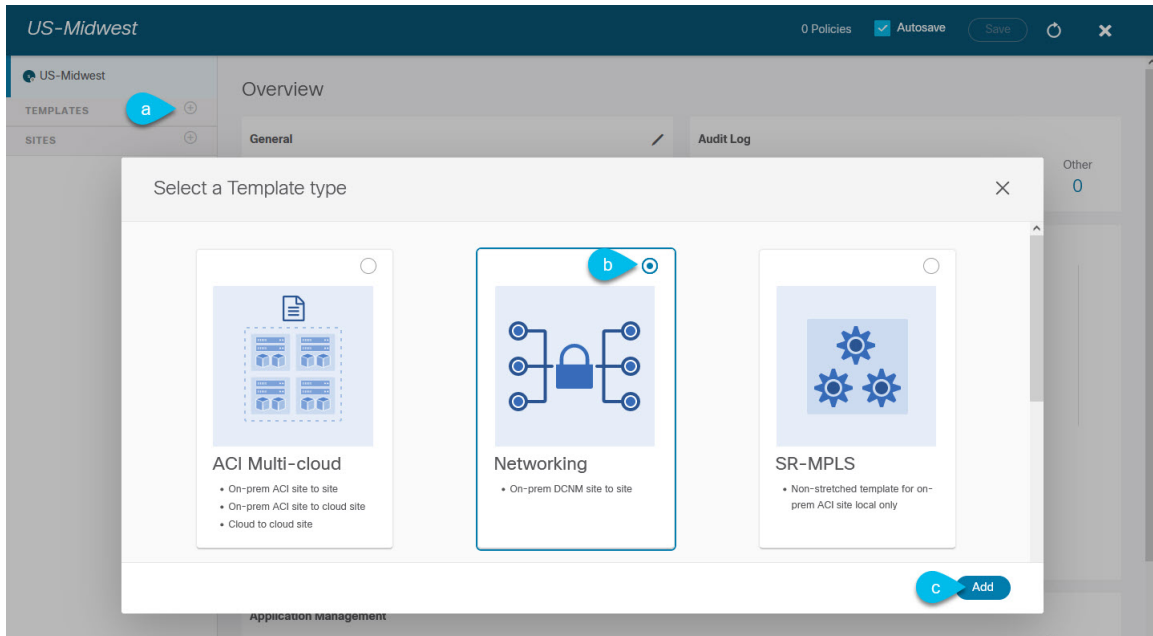
**ステップ 2** スキーマを新規作成します。

- 左側のナビゲーションメニューで、[アプリケーション管理 (Application Management)] > [スキーマ (Schemas)] を選択します。
- [スキーマ (Schema)] ページで、[スキーマの追加 (Add Schema)] をクリックします。
- スキーマ作成ダイアログで、スキーマの [名前 (Name)] と説明 (オプション) を入力します。

デフォルトでは、新しいスキーマは空であるため、1つ以上のテンプレートを追加する必要があります。

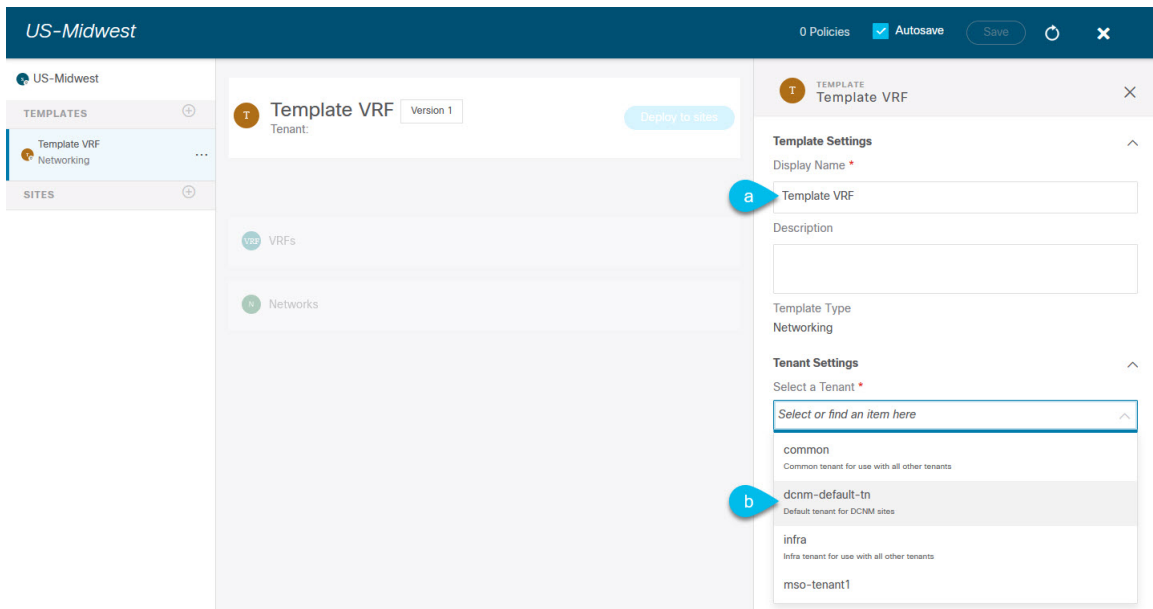
**ステップ 3** テンプレートを作成します。

VRF 用に1つとネットワーク用に1つの2つの個別のテンプレートを作成することをお勧めします。次の2つの手順では、テンプレートを作成する方法について説明します。



- 左側のサイドバーの [テンプレート (Templates)] で、[+] 記号をクリックして新しいテンプレートを追加します。
- [テンプレート タイプの選択 (Select a Template type)] ウィンドウで、テンプレートタイプとして [ネットワーク (Networking)] を選択します。
- [追加 (Add)] をクリックしてテンプレートを追加します。

ステップ 4 テンプレートの名前とテナントを指定します。



- 右側のサイドバーで、テンプレートの [表示名 (Display Name)] を指定します。
- [テナントの選択 (Select a Tenant)] ドロップダウンから、`dcnm-default-tn` テナントを選択します。

このテナントは、NDFC サイトのオブジェクトと設定を定義するために、デフォルトで NDO で作成されます。

**ステップ 5** 以前の 2 つの手順を繰り返して、2 つ目のテンプレートを作成します。

このリリースでは、各スキーマ内で VRF とネットワーク用に個別のテンプレートを作成してから、最初に VRF テンプレートを展開し、次にネットワークを含むテンプレートを展開することをお勧めします。このようにして、ネットワーク構成をサイトにプッシュするときに、ネットワークに必要な VRF がすでに作成されています。

同様に、複数のネットワークと VRF を展開解除する場合は、最初にネットワーク テンプレートを展開解除してから、VRF テンプレートを展開解除することをお勧めします。これにより、VRF が展開解除されたときに、VRF をまだ使用している既存のネットワークとの競合が発生しなくなります。

**ステップ 6** スキーマビューの右上隅で、**[保存 (Save)]** をクリックしてスキーマとテンプレートを保存します。

設定をインポートする前に、作成したスキーマとテンプレートを保存する必要があります

---

## NDFC サイトからのスキーマ要素のインポート

ここでは、既存のファブリックから設定をインポートする方法について説明します。

### 始める前に

- 前のセクションで説明したように、テンプレートを既存のファブリックに関連付ける必要があります。

---

**ステップ 1** メインペインで**[インポート (Import)]** ボタンをクリックし、インポート元の**[サイト (Site)]** を選択します。

インポートできるのは一度に 1 つのファブリックからなので、各ファブリックに対してこれらの手順を繰り返します。

**ステップ 2** 開いた **[<site-name>からのインポート]** ウィンドウから 1 つまたは複数の VRF を選択します。

Import from Fabric-2		×
POLICY TYPE	<input type="checkbox"/> <b>b</b>	<input type="checkbox"/> INCLUDE RELATIONS <span>🔍</span>
VRF	0 out of	<input checked="" type="checkbox"/> CORP-11
<b>NETWORK</b>	2 out of 4	<input type="checkbox"/> CORP-1
		<input type="checkbox"/> ENG-1
		<input checked="" type="checkbox"/> ENG-11
		<b>c</b> <b>Import</b>

- a) インポート画面で、既存のオブジェクトのすべてまたは一部を選択できます。

上記の例では、ENG-11 および CORP-11 ネットワークを、MSDの一部である Fabric-2 からインポートします。

(注) Nexus Dashboard Orchestrator にインポートするオブジェクトの名前は、すべてのサイトにわたって一意にする必要があります。重複する名前を持つ別のオブジェクトをインポートすると、スキーマ検証エラーとなり、インポートに失敗します。同じ名前のオブジェクトをインポートする必要がある場合は、先に名前を変更してください。

- b) [リレーションを含む (Include Relations)] ボックスがオフになっていることを確認します。

VRF を個別に 2 番目のテンプレートにインポートします。

- c) [インポート (Import)] をクリックしてオブジェクトをインポートします。

**ステップ 3** このステップを繰り返して、ほかのファブリックからネットワークをインポートします。

インポートしたサイト (この例の Fabric-2) の下でテンプレートを選択する場合、ネットワークはそのサイトからインポートされたかのように、スイッチとポート構成がすでに作成されています。ただし、同じネットワークが存在する別のファブリック (Fabric-3) でテンプレートを選択した場合、スイッチ設定は空になります。

インポートしたネットワークのインターフェイス設定を取得するには、他のファブリックから同じネットワークを再度インポートします。

**ステップ 4** 2 番目のテンプレートを選択し、前の 2 つの手順を繰り返して、必要なすべての VRF をインポートします。

ベストプラクティスとして、テンプレートの1つを使用して、サイトからVRF構成をインポートし、もう1つのテンプレートを使用してネットワーク構成をインポートします。

## テンプレートの展開と変更

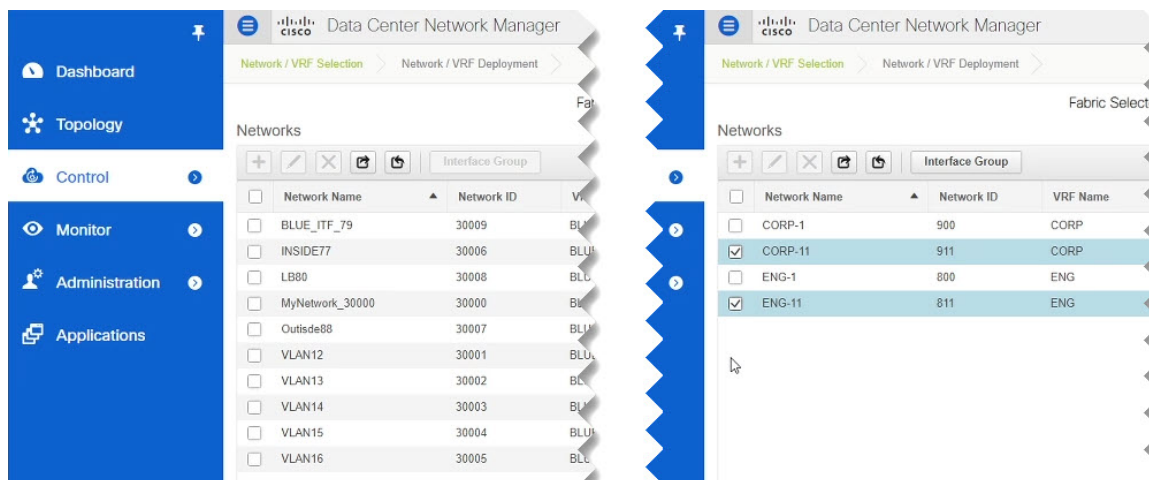
このセクションでは、インポートされた設定を、設定がまだ存在しないサイトに展開する方法について説明します。

### 始める前に

前のセクションの説明に従って、設定をインポートする必要があります。

**ステップ1** 左側のサイドバーで、展開するテンプレートを選択します。

同じ例に従い、NDFC UIを使用して、Fabric-2 と Fabric-3 からインポートしたネットワークとVRFが Fabric-1 に存在しないことを確認します。



**ステップ2** テンプレート編集ビューの右上で、[サイトに展開 (Deploy to site)] をクリックします。

[サイトに展開 (Deploy to Sites)] ウィンドウが開き、展開するオブジェクトの概要が表示されます。

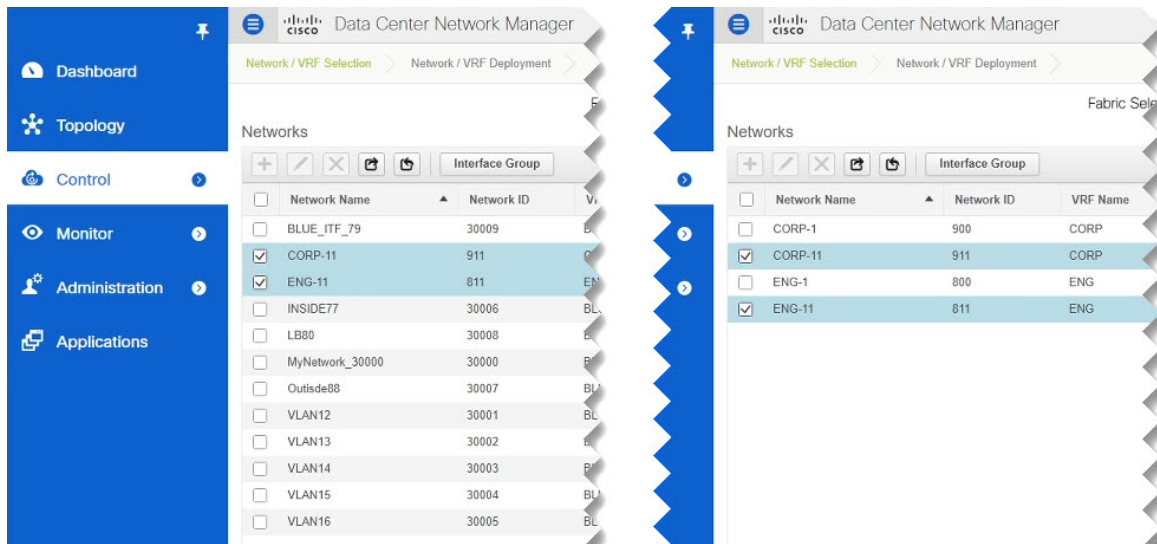
**ステップ3** [展開 (Deploy)] をクリックして、新しいテンプレートを展開します。

このテンプレートを初めて展開するので、[サイトに展開 (Deploy to Sites)] のサマリーに、サイトに展開される設定の違いが表示されます。

設定が展開されるまで数分かかる場合があります。NDO GUIに確認メッセージが表示されたら、NDFC UIを使用して設定が展開されたことを確認できます。

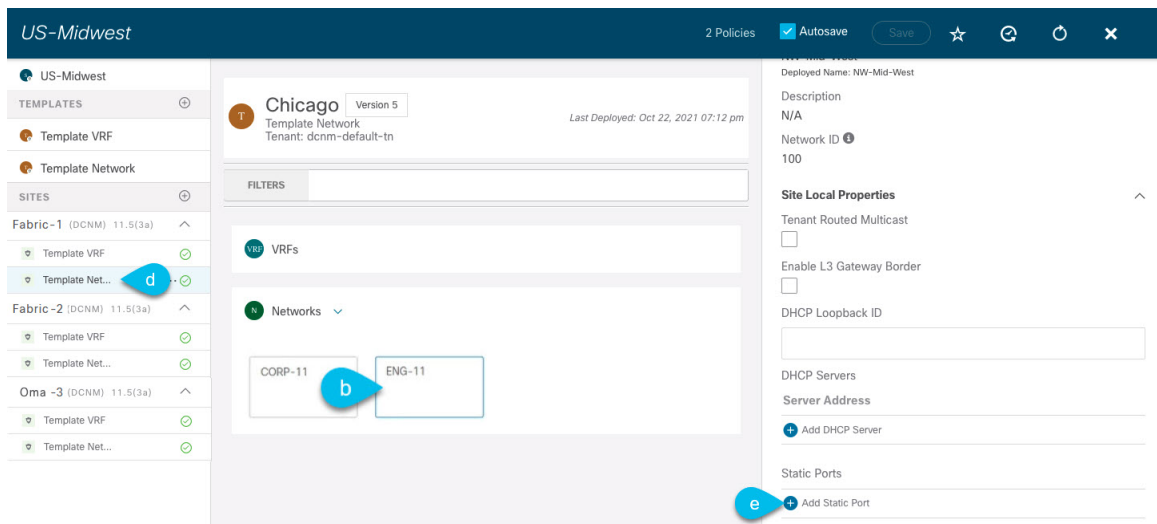


## テンプレートの展開と変更



## ステップ4 新しいネットワークにスイッチポートを割り当てます。

これで、Fabric-2 および Fabric-3 からインポートしたネットワークが Fabric-1 に展開されていることを確認しました。Fabric-1 には 1 つ以上のスイッチポートを割り当てる必要があります。



- Fabric-1 でテンプレートを選択します。
- 展開したネットワークを選択します。
- 右側のサイドバーで、[スタティックポートの追加 (Add Static Port)] をクリックします。

表示される [スタティックポートの追加 (Add Static Port)] ウィンドウで、ネットワークの VLAN を割り当てるスイッチとポートを選択します。次に [保存 (Save)] をクリックします。

## ステップ5 テンプレートを保存し、新しい設定の変更で再展開します。



NDFC GUIに戻り、[ネットワーク (Networks)] ページを更新することで、変更を再度確認できます。ネットワークのステータスは、NA から In Progress、そして Deployed に変わります。

---



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。